令和６年度学校関係者評価委員会　議事録

日　時】令和６年６月３０日（日）１０：００～１２：００
【会　場】こころ医療福祉専門学校　３階　講堂
【委　員】出席：大木田治夫，志岐浩二，有村俊男，髙比良宏輔，松永正司，瀬戸口勇二，
石原義大，森﨑太一，川﨑和幸
藤原善行，小野格，髙田一樹，松下周平
大石勝規，谷口幸太郎，舘川大輔，髙橋美如
（敬称略）

【議事録】

【総　評】大きな問題なし。

１　学校自己評価の説明（司会　副校長　小野　格）
学校自己評価報告書，学校自己評価結果に係る評価書の説明を行う。

２　令和５年度　学校自己評価結果に係る委員の評価書
特に問題なし・・・○
附帯意見あり・・・△

	点検項目	学校関係者評価
１	学校の目標・計画	○
２	教育理念・目標	○
３	学校運営	○
４	教育活動	○
５	学修成果	○
６	学生支援	○
７	教育環境	○
８	学生の受入れ募集	○
９	財務	○
１０	法令等の遵守	○
１１	社会貢献	○
１２	国際交流	○
１３	学校評価の総合的結果	○

3　令和5年度の重点目標に対する総括

（1）授業の充実と国家試験合格率及び就職率の100％達成

①本年度は、正規職員の退職者は0名で力量も安定しており、新任教員2名も授業に関しては予想以上の力を発揮していると評価している。授業を含めた学校の総合的な力量アップを図りたい。

②学生には、日頃から「すべては自分事」と指導し、「与えられる学び」から「自己の意思ある学び」へと指導してきた。

自学学習の習慣化は、今後、学校挙げて取り組むべき課題として残った。

③国家試験合格率は、学科のばらつきが見られ、満足の行く結果とは言えなかった。

各学科の合格率は、理学療法科95．2％、介護福祉科54．5％（日本人84．2％、留学生14．3％）、スポーツ柔整科100％、スポーツ鍼灸科84．6％、そして日本語科のJLPT 合格率は 56．6％であった。本年度は、前年度にコロナ禍での最上級生の国家試験対策に追われて低学年段階の指導に課題が残った事も一因と反省している。

④本年度の就職率は、令和6年度3月15日現在で、希望者について、１００％達成している。

⑤社会人基礎力を身につけさせ、自立する職業人を育成する。卒後他職種への転職が多くなり、在学中からの職業教育の改善が必要と感じている。そのためにも、卒後教育・卒後研修も目標に挙げ、取り組みを継続して進めていく。

4　議員意見

大木田）当医院では、看護師の不足が問題になっている。病院で取り組んでいる事は、他の職種とのタスクシェアを検討している。看護師が足りない場合、リハビリ職員が介助等を協力して行っている。実際の仕事と違う仕事も行わなければならないことも増えているため、退職に繋がっているのかもしれない。仕事のイメージの調整を学生時代からも行なってほしい。

小野）就職後のイメージの調整についてつながるところで、入学を検討する段階でオープンキャンパスがあると思う。本校では各学科の教員に中に広報委員を配置し、オープンキャンパス時に専門職の良いところ、悪いところもすべて伝えるようにしている。専門職を希望する高校生は入学前に様々な情報を知ることができ、本校へ入学する学生に関しては、ミスマッチは減っていると感じている。実際の就職する現場の変化をいち早く入学希望者へ伝える事ができると自負している。

大石）入学時に関わらず、学校に在籍中にも、専門職としての実情と役割の拡大については学生に伝えて行かなければならない。